かちまいスポーツ
記録の速報は▼kachimai.mobi
Eメール▼sports@kachimai.co.jp
写真がほしい▼TEL0120-25-9410
ファクス▼0155-25-2700

帯広FC 5年ぶりV

延長戦で広尾中に勝利

フットサル道選手権U—14予選　立田、高橋が好機生かす

【決勝・帯広FC—広尾中】右サイドでボールを奪いダメ押しゴールをアシストした帯広FCの㉓立田茂貴（右）

【新得】フットサルの全道選手権2011（U—14の部）十勝地区予選会（十勝地区サッカー協会主催）が27、28の両日、サホロアリーナなどで行われた。決勝は帯広FCが先制しながら後半終盤に追いつかれたが、延長戦で立田茂貴、高橋昂平（いずれも2年）がチャンスを生かしてゴールを決め、3—1で広尾に勝利して5年ぶりの優勝を飾った。帯広FCは来年2月に札幌市で行われる道大会に進出する。（古川雄介）

「やるべきことをできた」　道東ブロック制覇自信に

予選ブロックリーグを2位通過、決勝トーナメント初戦は優勝候補の帯北アンビシャスをPK戦で下すなど厳しい戦いの連続だった帯広FCが、決勝も延長戦の末に勝利をつかんだ。GK宮浦道紀主将（2年）は「途中からはうちのペース。体力的にもギリギリだったが、皆が自分のやるべきことを分かっていた」とうなずいた。

前半は広尾中を相手に劣勢に立たされた。競り合いでボールを奪えず、立て続けのピンチをしのぐ展開。しかし後半は「パスがつながり、シュートまでもっていけた」（宮浦主将）と猛反撃。高橋昂平がこぼれ球を押し込んで先制した。延長も主導権は渡さず、延長前半は連続シュートから立田茂貴がGKの弾いた球をけり込んで勝ち越し。同後半にも立田、高橋の鮮やかな連携でダメ押しした。

「道東ブロックを勝ち抜けたことが力になっている」と目を細める成田喜幸監督。1、2年生チームは今季カブスリーグU—14の道東ブロックで全勝優勝、来季の道カブスリーグ2部への昇格を決めて自信を深めた。インドアとはいえ、来季道カブス1部で戦う"格上"の帯北アンビシャスを相手にしても一歩もひるまなかった。

緑の常勝軍団として相手を震え上がらせた絶頂期から少し時間がたったが、「もっとパスで相手を崩して点を取りたい。目標は全道大会での優勝」と燃える宮浦主将の言葉に名門復活の兆しも。成田監督も「道大会には来シーズン戦うチームも出てくるはず。たくさん試合をしてきたい」と貴重な経験の機会と位置づけていた。

5年ぶり優勝の帯広FC

準優勝の広尾中

練習通りにパス回せた　広尾・小椋主将

○…序盤の攻勢から一転、後半先制を許した広尾中だったが、残り2分、小椋堂生主将（2年）のゴールで同点に追いつく粘りを見せた。延長戦も積極的に得点を狙いにいったが、ゴールネットは揺らせなかった。小椋主将は「最後は集中が切れてしまったが、パス回しを重点的に練習してきたことが出せた」と胸を張った。

少年団時代にフットサルで2度全道大会を経験した世代がたくましく成長している。同点弾をアシストした菊池裕貴（2年）、小椋主将らを中心に、動き出しの速さと体格を生かした球際の強さが光った。道大会への代表枠は決定していないが、例年通りなら十勝地区は2枠となり、出場権の獲得は濃厚。

「自分達は全道で勝ったことがない。まず1勝できるようにしっかり練習したい」と、この日の試合を反省して鍛え直すつもりだ。

フレッシュアップのお手伝い　サンドライ　帯広市西5南4　☎25-5552

◇予選リーグ▽グループA＝①帯北アンビシャス2勝1分②帯川西中1勝1敗1分③帯五中3分④帯八中2敗1分▽グループB＝①本別中3勝②プログレッソ十勝2勝1敗③帯南町中1勝2敗④芽室西中3敗▽グループC＝①帯一中3勝②帯広FC2勝1敗③帯緑園中1勝2敗④共栄中3敗▽グループD＝①浦幌中2勝1分②大樹中2勝1敗③中札内中1勝2敗④芽室中2敗1分▽グループE＝①札内中3勝②陸別中2勝1敗③帯三中1勝2敗④上士幌・士幌中央中3敗▽グループF＝①広尾中2勝1分②足寄中2勝1敗③帯大空中1勝2敗④鹿追中2敗1分▽グループG＝①札内東中3勝②帯四中2勝1敗③更別中央中1勝2敗④帯二中3敗▽グループH＝①下音更中3勝②緑南中1勝1敗1分③池田中1勝2敗④帯西陵中2敗1分▽グループI＝①新得・清水中3勝②帯六中2勝1敗③音更中1勝2敗④駒場中3敗

◇決勝トーナメント▽1回戦
足寄中 2—1 下音更中
大樹中 6—2 緑南中
▽2回戦
帯広FC 2—2（PK5—4）帯北アンビシャス
足寄中 4—1 浦幌中
プログレッソ十勝 3—1 札内中
帯六中 5—5（PK4—3）札内東中
帯一中 2—1 帯川西中
広尾中 2—1 帯四中
新得・清水 2—1 大樹中
本別中 8—1 陸別中
▽準々決勝
帯広FC 3（2—0、1—0）0 足寄中
帯六中 4（2—1、2—1）2 プログレッソ十勝
広尾中 1（1—0、0—0）0 帯一中
本別中 3（2—1、1—0）1 新得・清水
▽準決勝
帯広FC 3（0—0、3—1）1 帯六中
広尾中 3（1—0、2—1）1 本別中
▽決勝
帯広FC 3（0—0、1—1、延長1—0、1—0）1 広尾中

開西など決勝Tへ

道小学アイスホッケー予選

アイスホッケーの第31回全道小学生競技会帯広地区予選会3日目は28日、帯広の森アイスアリーナで予選トーナメントAブロックの決勝などを行い、開西が5—2で清水御影に勝利した。両チームは12月4日の決勝トーナメント準決勝に駒を進めた。

同2日に同Bブロックの決勝・啓西スマイラーズ—幕別（午後6時40分）、敗者戦・広陽稲田ブルーインズ—Vortex大空（同5時10分）を行う。

＜予選＞◇Aブロック▽決勝
開西 5（1—0、3—1、1—1）2 清水御影
▽得点者【開】清水3、長原2【清】園家2▽アシスト【開】中條2、清水▽反則【開】2【清】1▽シュート数【開】30（6、14、10）【清】17（7、4、6）▽審判＝円子健、中田、高野
▽敗者戦
浦幌 6（1—0、3—1、2—0）1 音更・チエスコ
▽得点者【浦】西2、高橋2、藤村、佐藤【音】加藤▽アシスト【浦】高橋、堀川季、西【音】河瀬▽反則【浦】1【音】1▽シュート数【浦】30（11、8、11）【音】9（1、5、3）▽審判＝広川、奥村、澤山

高木菜女子3000で初優勝

ジャパンカップスケート第2戦　男子5000は平子連勝

女子3000㍍を制した高木菜那

【札幌】スピードスケートの2010～11ジャパンカップ競技会第2戦真駒内大会（日本スケート連盟主催）は28日、札幌市内の真駒内屋外競技場で最終日の男女5種目を行った。女子3000㍍は高木菜那（帯南商高）が4分38秒80で優勝、同1000㍍は永田希絵（同）が1分27秒06で2位に入った。男子5000㍍は平子裕基（開西病院）が6分54秒91で2位以下に大差をつけて圧勝。同1000㍍は中嶋敬春（十六銀行）が1分14秒73で制し、西村誉士（パソナ—専大、白樺学園高出）が1分14秒84で2位となった。

妹の五輪観戦　意識高まる　高木菜

▽…我慢比べとなった女子3000㍍で、154・5㌢と小柄な高木菜那が表彰台の中央に立った。強風の中、脚力を消耗しないようピッチ走法に切り替える作戦が的中。「風が吹く組、やむ組があって本当の結果ではないと思うけど、自分の滑りができた」とはにかんだ。

中学生でバンクーバー五輪に出場した高木美帆が妹。以前は美帆に追いつくことが目標だったが、同五輪を現地で観戦して「世界にはもっと速い人がたくさんいる。自分も世界で戦えるようになりたい」と意識が変わった。

「4年後の（ソチ）五輪が一番の目標」と力を込める菜那。来月の全日本選手権では、五輪やW杯を知る先輩相手に力を試す。

女子3000㍍を制しトロフィーを手にする高木菜那＝28日、札幌市の真駒内屋外競技場

（28日・4位以下関係分）

【男子】◇1000㍍＝①中嶋敬春（十六銀行）1分14秒73②西村誉士（パソナ—専大、白樺学園高出）1分14秒84③土井槙悟（開西病院）1分15秒33⑤田中壮洋（日大—池田高出）1分15秒65⑥小林正暢（アウレオサイエンス—明大、白樺学園高出）1分15秒84⑧三輪準也（白樺学園高）1分16秒51⑨新田昌樹（とかちチームAA）1分16秒57⑫松本和哉（日大—本別高出）1分17秒04⑬今野陽太（開西病院）1分17秒56⑭長谷川翼（白樺学園高）1分17秒60⑮長内慎太郎（日体大—白樺学園高出）1分17秒86⑱大和田司（北翔大—白樺学園高出）1分18秒45㉒村上右磨（帯工高）1分19秒38㉓大和田真（北翔大—本別高出）1分19秒44㉕岩城暁（北翔大—白樺学園高出）1分19秒77㉗土屋慎吾（山口スケーティングクラブ—山梨学院大、白樺学園高出）1分20秒02㉘坂井洸太（専大—白樺学園高出）1分20秒35㉙富岡幸弘（山中湖スケートクラブ—明大、白樺学園高出）1分20秒46㉛矢野力也（日体大—池田高出）1分21秒51㉝池田崇将（白樺学園高）1分21秒96㉞土井優斗（専大—白樺学園高出）1分21秒98㉟小室拓也（明大—白樺学園高出）1分22秒22㊳磯賢汰（帯農高）1分24秒25㊴松田知記（池田高）1分24秒36㊴小林友剛（明大—白樺学園高出）1分24秒36㊶後藤卓也（帯農高）1分25秒50㊷小野塚健二郎（白樺学園高）1分26秒06㊸池田大輝（日大—白樺学園高出）1分26秒57

◇3000㍍（カルテット）＝①花岡宏大（専大）4分15秒82②高浪健太（山梨学院大—白樺学園高出）4分16秒91③本間勇太（日大）4分16秒73⑤小川翔也（池田高）4分24秒01⑧宮浦雅之（白樺学園高）4分33秒05

◇5000㍍（カルテット）＝①平子裕基（開西病院）6分54秒91②黒岩信允（JAつまごい村）6分59秒42③渡部知也（日体大—池田高出）7分3秒37⑥道下雅史（十六銀行—専大、白樺学園高出）7分10秒54⑪蓑田翔（専大—白樺学園高出）7分20秒52⑯中野誠（白樺学園高）7分24秒87⑰小坂龍（白樺学園高）7分26秒83⑱高浪健太（山梨学院大—白樺学園高出）7分27秒36⑳宮村健斗（日大—池田高出）7分33秒31㉙久保渉吾（池田高）7分57秒80㉚金曽将哉（日体大—白樺学園高出）8分1秒31㉝山田達弥（東洋大—釧路商高、浦幌中出）8分9秒73

【女子】◇1000㍍＝①阿部友香（駒大苫小牧高）1分26秒98②永田希絵（帯南商高）1分27秒06③橋本亞弥（富士急）1分27秒58④小原悠里（高崎健康福祉大—白樺学園高出）1分28秒13⑤石田誌保（十六銀行—山梨学院大、池田高出）1分28秒21⑧土田泉（駒大苫小牧高—屈足中出）1分30秒01⑩辻本有沙（白樺学園高）1分30秒68⑫大菅小百合（大和ハウス工業—白樺学園高出）1分31秒89⑭高畑優貴（白樺学園高）1分32秒04⑰押切美沙紀（駒大苫小牧高—中札内中出）1分34秒41⑱桜井萌美（白樺学園高）1分34秒67㉑郷亜里砂（山口スケーティングクラブ—山梨学院大、白樺学園高出）1分39秒18㉒板根茜弥（東女体大—白樺学園高出）1分39秒31

◇3000㍍（カルテット）＝①高木菜那（帯南商高）4分38秒80②高山梨沙（駒大苫小牧高）4分40秒21③藤村祥子（群馬県スケート連盟—日体大、白樺学園高出）4分43秒02⑧川崎みなみ（群馬県体育協会—日体大、白樺学園高出）4分46秒24⑬谷垣彩香（帯南商高）4分51秒11⑭白木恵梨（山梨学院大—池田高出）4分51秒94⑮川口愛莉（帯南商高）4分52秒18⑰藤村あゆみ（日体大—白樺学園高出）4分52秒91⑱福地加奈（大東大—釧路商高、駒場中出）4分54秒15㉓蓑田智子（帯広スケート連盟）5分7秒26㉔米田光希（白樺学園高）5分11秒99

◆第15回北海道中学生選抜スピードスケート競技大会

（28日・道立真駒内屋外競技場、2位以下関係分）

【男子】◇1000㍍＝①酒井宏人（別海中央）1分22秒49②佐藤健（清水）1分23秒79③松井友汰（豊頃）1分25秒08⑦水野正也（御影）1分27秒08⑨前田貴大（駒場）1分30秒50⑩安田将俊（更別中央）1分31秒00

【女子】◇1000㍍＝①太田凪砂（更別中央）1分30秒12③山根佳子（帯緑園）1分31秒50⑦浅野実久（芽室）1分36秒01

石野は16位　女子1500

スケートW杯　団体追い抜きは7位

スピードスケートのワールドカップ（W杯）今季第3戦、ハーマル大会最終日は28日、ノルウェーのハーマルで行われ、女子1500㍍で石野枝里子（日本電産サンキョー—白樺学園高出）は2分1秒84で16位だった。菊池彩花（富士急）は2分3秒69で18位、松田有幾（十六銀行—白樺学園高出）は2分4秒19で20位。クリスティン・ネスビット（カナダ）が1分58秒00で優勝した。

女子団体追い抜きで石野、石澤志穂（苫小牧スケート連盟—駒大苫小牧高、中札内中出）、菊池の日本は7位。カナダが優勝した。（時事）

（28日・2位以下日本関係分）

【男子】◇1万㍍A＝①ボブ・デヨング（オランダ）13分5秒83◇1万㍍B＝⑪在家範将（日大）13分52秒58⑫中村奨太（駒大苫小牧高）13分53秒90⑳阿部大輝（クレアシオン・インベストメント—日大、白樺学園高出）14分16秒96

【女子】◇1500㍍A＝①クリスティン・ネスビット（カナダ）1分58秒00⑯石野枝里子（日本電産サンキョー—白樺学園高出）2分1秒84⑱菊池彩花（富士急）2分3秒69⑳松田有幾（十六銀行—白樺学園高出）2分4秒19◇1500㍍B＝⑤穂積雅子（ダイチ）2分4秒22⑥門奈津実（ダイチ—白樺学園高出）2分5秒17◇団体追い抜き＝①カナダ3分0秒90⑦日本（石野枝里子、石澤志穂、菊池彩花）3分8秒22